

2019年度 北九州地域産業人材育成フォーラム地域連携型インターンシップ
研修型（短期）インターンシップ
実施後アンケート 集計結果

【学生版】

北九州地域産業人材育成フォーラム
2020年1月

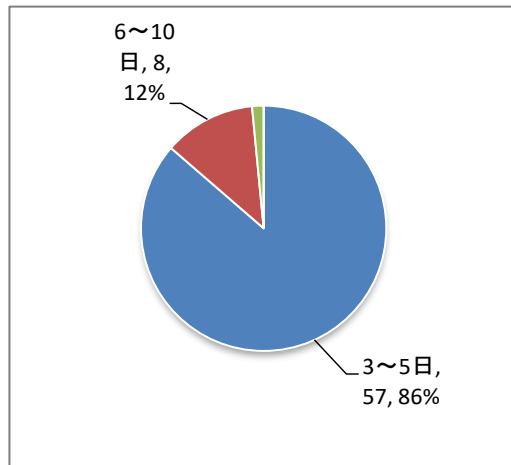
1. アンケート概要

実施期間 2019年8月～12月

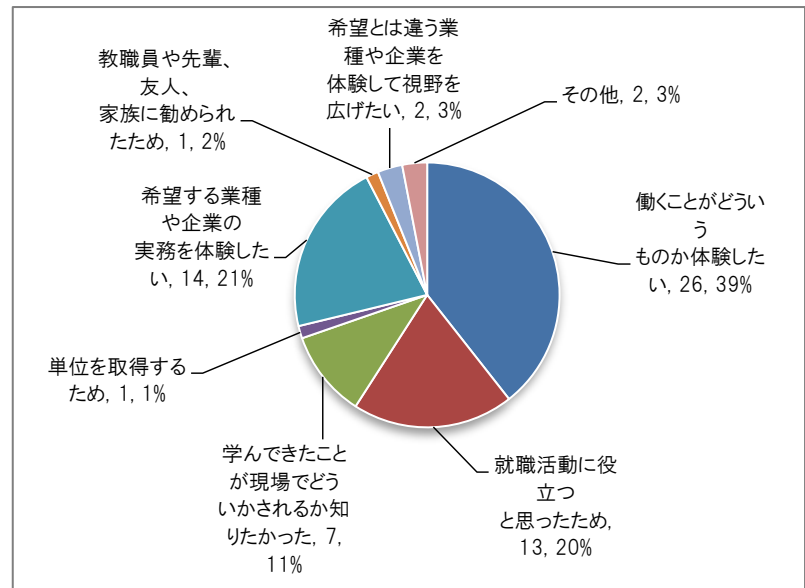
対象者 2019年度産業人材育成フォーラム研修型（短期）インターンシップ参加学生 76名

回答数 66名 （回収率 86.8% ）

2. 実習日数（実働日数）について

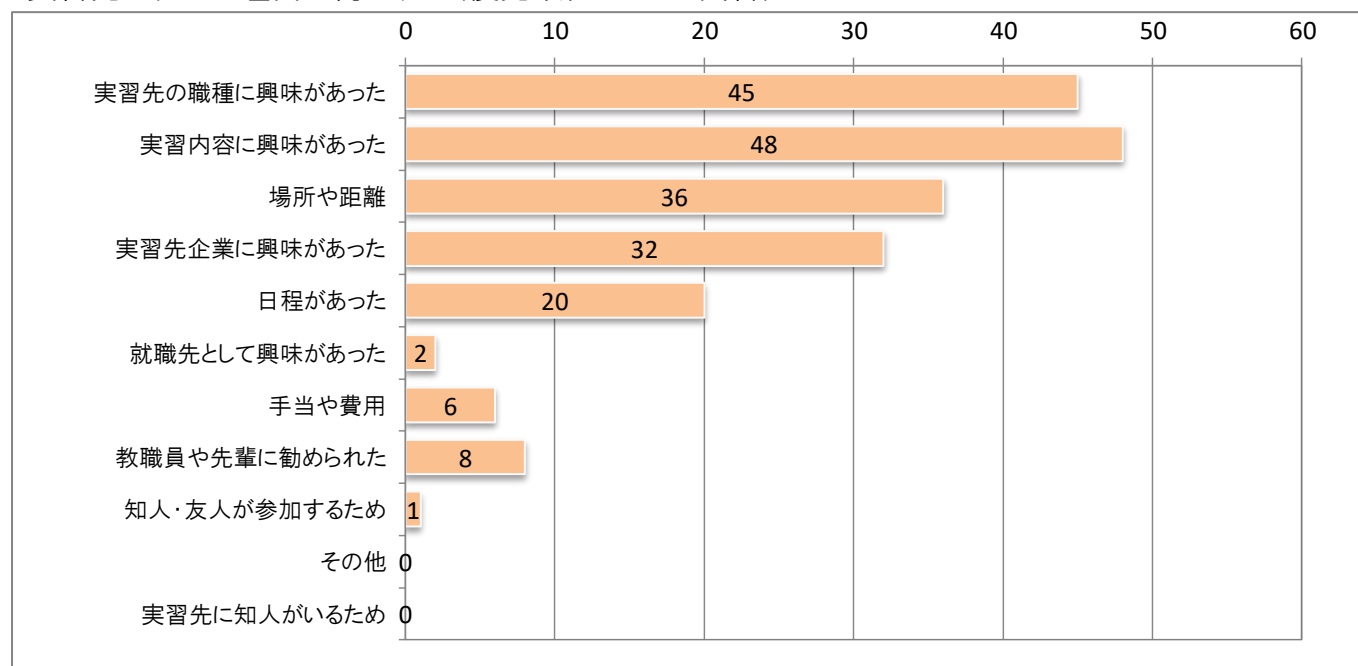


3. 参加動機について



4. 実習先を決めた理由は何ですか（優先順位3つまで回答）

（人）

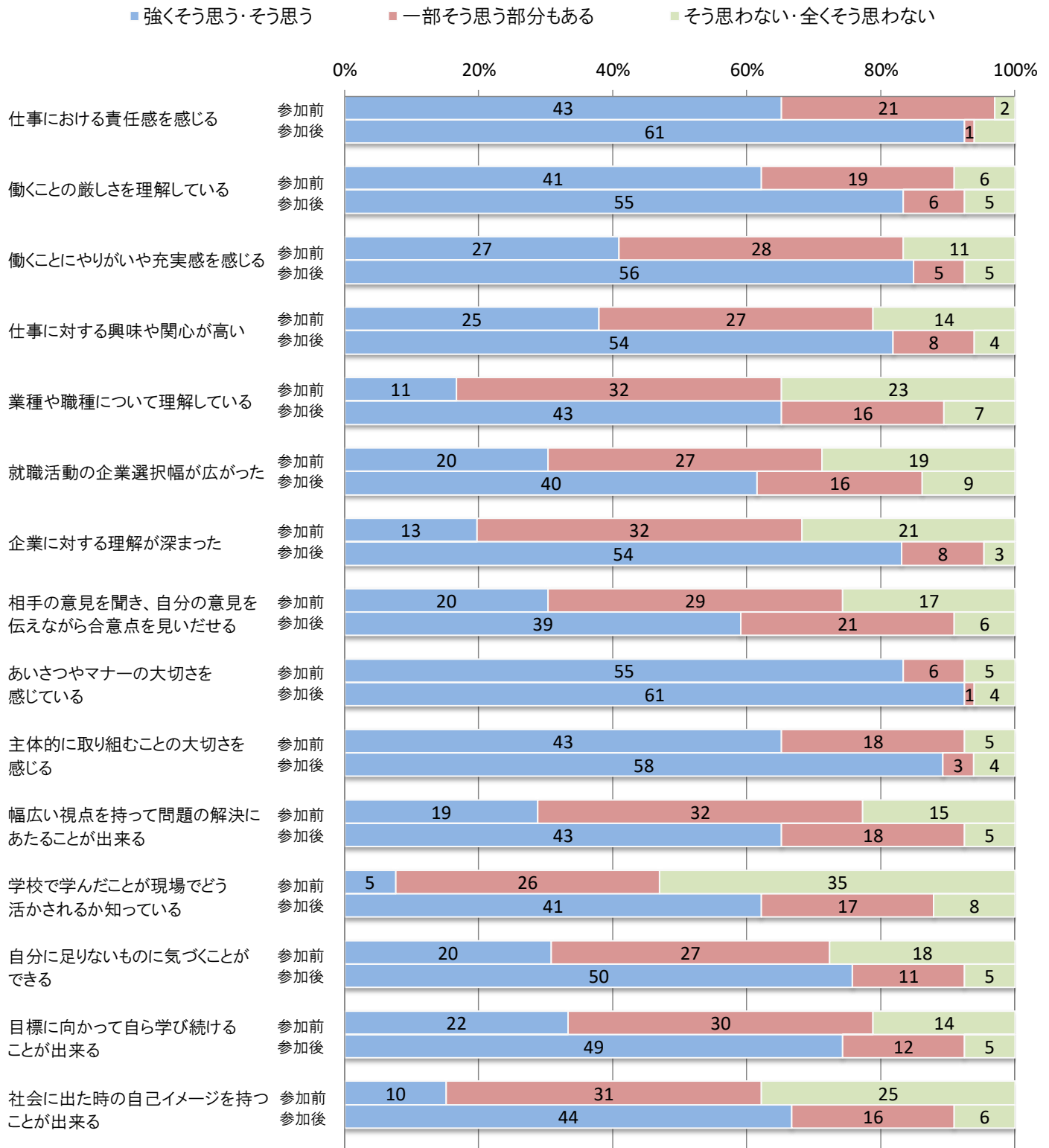


5. インターンシップ参加に向けて行った事前準備を教えてください

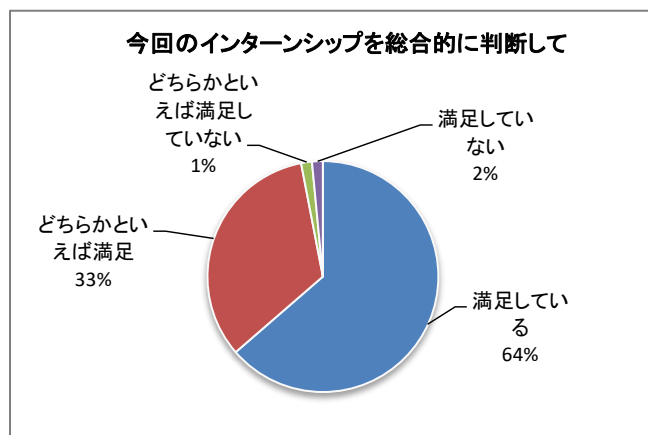
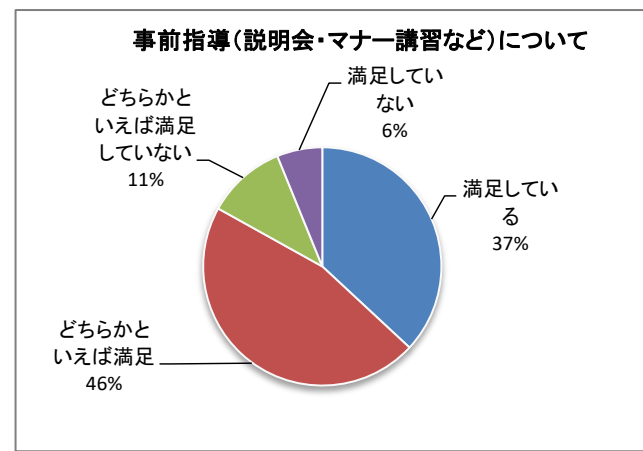
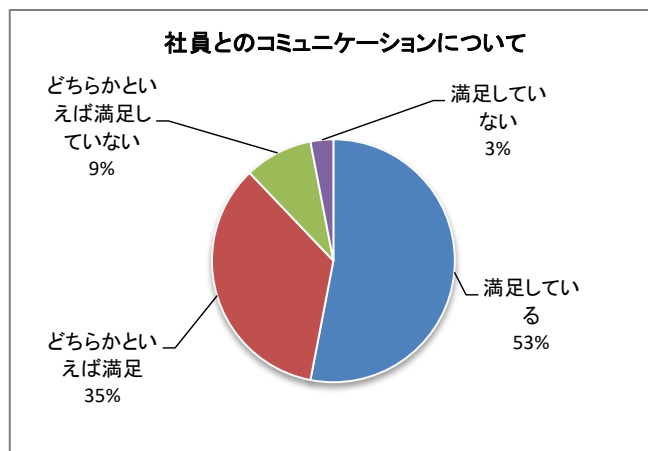
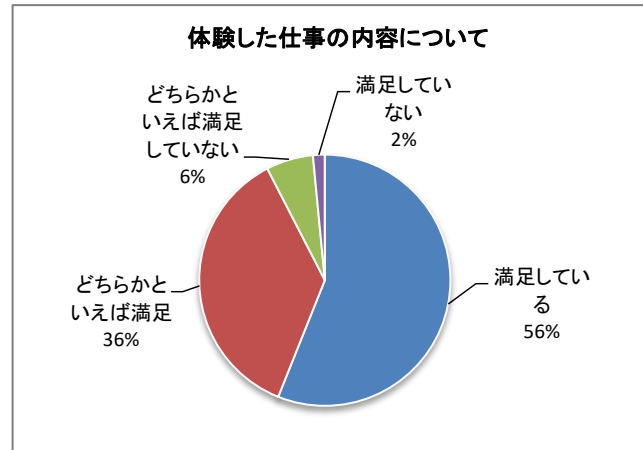
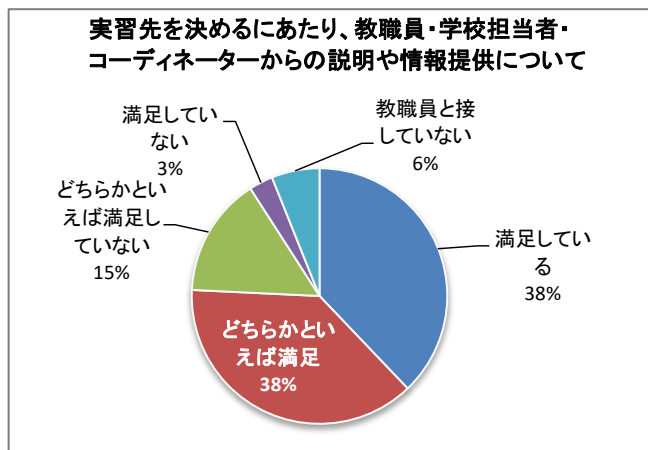
・ホームページや、会社案内等での企業情報収集・研究	30 件
・実習先企業の通勤手段の確認	4 件
・ビジネスマナー等の勉強	14 件
・実習に必要だと思われる知識の復習や予習	9 件

6. インターンシップ参加前と参加後の考え方の変化について教えてください

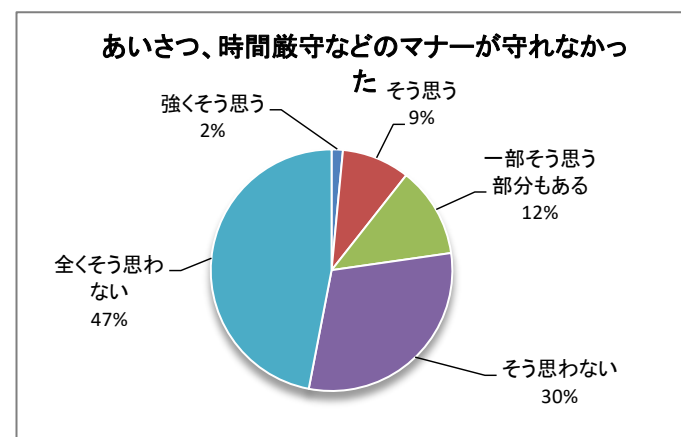
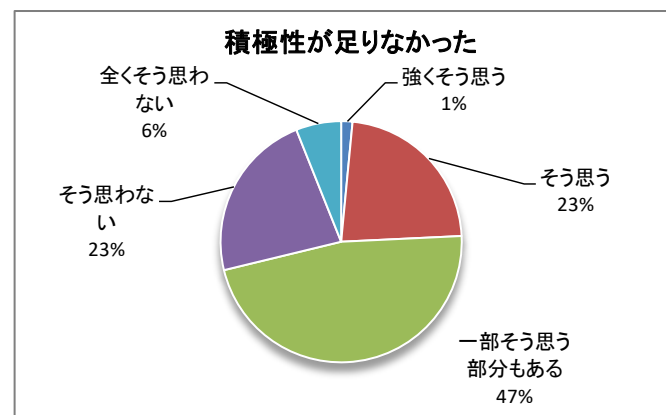
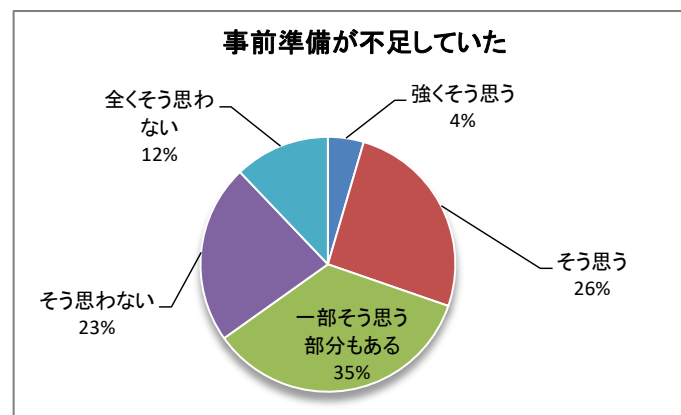
(人)



7. インターンシップ参加の満足度について、もっともあてはまるものを一つを記入して下さい



8. インターンシップの反省点について、もっともあてはまるものを一つを記入して下さい



9. インターンシップ実習で気付いたことについて記入してください（原文のまま）

- ・ 大学で学んでいる内容の応用のような実習でも、普段は気づかないような所まで、実際は気遣いながら設計などを行わなければならないということを知れて良かった。
ソフトウェアに興味があつて参加したが、他の部署の実習内容にも興味を持った。
- ・ インターンシップでは座学が中心であつたのだが、その時に大学で習ったことがでてきたが、問題に答えられないことがいくつかあり、自身の勉強不足、知識の理解力の浅さに気付くことができたと同時に、実力不足を実感した。
そういう事もあるが、インターンシップを体験したことによって、企業のHPでは知りえなかったことを知ることができた。
また、インターンシップの内容が想像以上に良かったことも印象によく残った。
- ・ 兵役終わって物流の会社でバイトをしましたが、今後物流会社でインターンシップをすることになるきっかけになりました。
会社の流れがどういことが分かったけど、もっと深く知ることができました。
- ・ インターンシップを体験して、仕事の大変さ、楽しさ、責任感の大切さを改めて実感することができました。教えてくれる会社の方も親切で、分からないところを聞いても詳しく説明してくれたので良かったと思いました。
悪いと思った点は、元気よく挨拶ができなかったり、メモを取り忘れていたりしたところが悪いと思いました。
今回は、体験出来なかった板金加工があつたので、やってみたい気持ちがありました。
- ・ 悪かった点は初日の方が知らなかった事などをすぐにメモを取る事ができなかったり、忘れてりました。良かった点や社員の方、一人一人にあいさつができたし、普段することのなかった圧着、はんだ付け、検査などできて、とても良い経験になった事です。興味をもった点は、今回現地調査、写真撮影をやっていないのでやってみたいと思いましたし、もっと詳しく設計・製造・検査をやりたいと思いました。
- ・ 良かった点は他の大学の人とも普通に作業できたことや、実際に見に行くことで企業の雰囲気を知ることができた。
悪かった点は遠かったのも朝早く、作業中にうとうとしてしまった。
- ・ インターンシップ事業にて、実際に会社の雰囲気、勤務している人がどのような感じなのか見ることができるので良かったと思いました。また、工場内にて運用されている場面など見ることができ良かったと思います。AGVがどのような構造をしているのか(電氣的、機会的)を知ることが出来、自分もやってみたいと増々興味を持ちました。
- ・ 現場での大変さやきつさを知れて良かった。開発や技術部署が楽しそうで興味を持てた。
- ・ 仕事をする大変さや雰囲気などを学ぶことができた。
- ・ 座学では十分な休み時間が確保でき、集中してやることができた。1人での受け入れのため少し不安になるところがあつたが、受け入れ先の人がよくしてくれたので、すぐに気にならなくなった。
- ・ 私はインターンシップで実験をしたが、学校で実験をした時のゆに実験して考察、レポート作成など同じようなことをしたので、プロセスなどを学生のうちにしっかり学んでおくことが大切だと気付いた。
- ・ 多くの人を話ができて、それぞれの仕事に対する考え方などが聞けて参考になった。発電機の修理という大きな仕事では常にチームとして働いていて、個人では解決できない問題もチームだとか解決できるとおっしゃっていたので、チームワークの大切さを改めて実感することができました。
- ・ インターンシップに参加したことで、会社の雰囲気、仕事内容などを知ることができたのがよかったと思いました。
- ・ [良かった点]・実際の職場で体験することによって働くということを強く理解することができた
・ 技術がどのような形で使用されているかを知ることができた
[悪かった点]・積極性が足りていないと感じた ・インターンシップで行う内容についての情報を集めるべきだった
[興味を持った点]単一の部署だけではなく他の部署とも綿密に関わって開発が行われている点
- ・ 企業の方は、挨拶などの基本のマナーがしっかりしていて、やっぱりそこから大切なんだなと思った。
- ・ 自分で作った映像を見てもった時、見る人によって良い所、悪い所の意見が違ったので、自分が満足いく映像をつくったとしても、お客様や他の見る人を必ず満足させるのは難しいと分かりました。クライアントとすり合わせをして、相手を満足させられるようにするのが大切など分かりました。
- ・ 社会の上下関係はとてもきびしく、楽しいものだと感じました。良かった点は金型の勉強ができてミクロンという厚さまで調節している事です。また、悪かった点は集中力が足りなかった事です。
- ・ どのような会社なのかがわかった、自分にむいているのか、むいていないのかがわかった。
- ・ 見た情報だけではなく実際に体験してロボットを使う仕事とはどのようなものなのを知る事ができた。
- ・ 色々な会社の仕組みがある程度理解可能になる。実習参加者が自分一人だったため質問もしやすく実習内容もやりがいのある六面加工で仕上げまでさせていただいたので良かった。会社内の雰囲気が良い。
- ・ 実際に職場でしか体験できない現場の感じなどを知ることができ、とても良い経験を知ることができた。
また、今まで知らなかったことを知り新たに興味を持つことができたのも良かった。
もう少し、積極的に参加していくべきかとも思うので今後にかかしていきたい。

- ・ 仕事の中で一人で全てをやることはできないし、ハウレンソウの大切さ等は働いている人を1日中いるとよく感じられた。今回対応をしていただいた担当の方もおっしゃっていましたが、分からないときにどんどん聞きにいきないと進まないが、仕事の最中だから聞きに行きづらいと思ってこない人が多いと。結果的に自分も行けないタイプの人だったのですが、こういうことは大学でも慣れておくことができると反省しました。
- ・ 大学で学んだ内容で体験しながらその分野にもっと知りたいと思いました。
- ・ 実際の現場はもちろんのこと、今まであまり気付けていなかった現場を支える人たちの仕事を知れて、さらに興味がわいた。
- ・ 気づいたこととして、同じ学校から行くのに、なぜか日程が異なっている。企業側からしたら、まとめてやったほうが楽なんじゃないかと思うが、緊張した。
- ・ 働くということや仕事の大切さなど分かる点が多く、知らないことを知れてとてもいい体験でした。
- ・ 5日間のインターシップ実習で実際に働いている人の姿など体験できたのでよかったです。キャリアやクレーンの作業点検や現場の様子をみれたので良かったです。もっともっと学校で勉強をしっかりしていきたいなあと思いました。5日間のインターシップに比べてとても貴重な時間になったので良かったです。
- ・ まず、やりたいことに対する知識を深めその知識をもとに多角的に考えることが大事だと気が付いた。また、インターシップ初日は質問がないかと聞かれても何も質問できなかったが、その後何か一つでも質問をしないと話を聞いていないと思われ、失礼にあたるということを知った。また、今回のインターシップ全体を通じてビジネスの流れについて学ぶことができた。そして、インターンシップで学びたいと考えていた実際の現場での設計についても学ぶことができた。
- ・ 企業でモノづくりをする際には大きな責任がまわりつくことを知った。電車通勤はきつい
- ・ 企業では一つ一つの判断が業績に大きく関わるため、慎重に物事を決めていかなければならないと知った。相手の企業の訪問や現場の視察などで車を利用することが多いため、自動車の免許を取得するべきだと感じた。商品の計画では、アイデアを持ち合ってより良い案を見出すという手法がとられていた。実験を行うときには、時間が限られているため事前の準備が重要だと痛感した。企業は機械の説明において作業をどのくらいの時間で終えることができるのかを重視すると思った。
- ・ 動画編集とは思った以上に地道で、経験や勘が必要な作業であること。
- ・ 良かった点→働くというイメージが強く持てた。一人一人の責任感が大きいことを知ることができた。
悪かった点→特になし
興味を持った点→インターンシップ先企業の機器分析についてもっと深く知りたいと思った。
- ・ 良かった点：高専の3,4年生の化学実験でやったことのあるやつはうまくできた
悪かった点：積極性が足りなかったことが少しあった
興味をもった点：割と簡単な作業で世に必要な製品が作れるということ
- ・ 当初の自分が予想していた部署とは違った。私が想像して設計と企業での設計のギャップを知った。私が興味のあることを伝えるとそれに沿って実習を進めていただけた。
- ・ このインターンシップ実習では、いわゆる一般の中小企業がどのような雰囲気なのか感じることで良かったと思う。
また、他の中小企業がどのような強みを持っていて勝負しているのか興味を持ったので、いろいろな企業について調べてみたい。
- ・ 実際の現場がどんなものであるか、自分の勉強しているものがどうつながるのかがわかったように感じる。自分が専攻していない他分野の勉強もしてみたいと思った。
- ・ 昼食の時間や紹介時に質問をしたり、気軽に話す環境が出来ていた点がとても良かった。
- ・ 実習内容についてある程度自分で調べていた方が理解度が上がると思う。
作用着のポケットに入るサイズのメモ帳を入れた方が実習中にメモできてよいと思う。
- ・ 今回のインターンシップを通して、興味を持っていた制御・設計の仕事について、社内見学や部門実習を通して細かい点まで知ることができた。
また、社員の方々から話を聞くことでインターンシップ先の社風も知ることができたので良かった。
- ・ 大学時代に学んだ分野とは全く違う分野で働いている人がいて驚いた。自分が学んでいること現場で使われているところを見ることができ、無駄ではなかったと知ることができた。勉強に対するモチベーションに繋がった。
- ・ 自分の就職の意識、自分の興味のある事の学習が足りてないと感じた。また、どの仕事にも必要なパワーポイント作成技術、発表する力が足りてないと感じた。
課題を越えてお客さん目線で考える力を持っていることを知れた。
プログラミングにも色々な資格があると知れた。
- ・ 良かったことは実際に働いている人を見て話をきいて、いろんな考えを知る事ができたことです。説明会とかで聞くよりも具体的で、いってよかったと思いました。
悪かった点は、事前準備が不足というよりも知らないことが多くて、対応出来なかったです。2年生でわかったので来年改善したいと思います。見ないと分からないことが多いので来年積極的にさがしていきたいと思えるようになりました。
- ・ インターンシップで、実際に働くことについて詳しく知ることができた。普通の工場見学では見る事が出来ない部分までしっかり見せてもらうことが出来たので良い経験になった。次回からは出来ればどういった内容ですか詳しく知っておきたいと感じた。

- ・気づいたことは大きく3つあります。1つが今大学で学んでいる事が企業で役立つことも多少あるということです。説明を聞いて、講義で習ったことのある内容も含まれており、大学での勉強が大切だと強く思った。2つ目が、軸受けは1つの機械からしたら、小さな1つの部品だが、その部品にも多くの方が関わって、工夫して作っているのだなと自分の視野の狭さに気付きました。
- ・総合システムという学科で今まで広い分野について学んできて、電気の知識、機会の知識、材料の知識など、実習中に教えていただいた事の中全く聞いたことがないというものは無かったため、その点は良かったと思う。また、今まで私は部活動に取り組んできたが、人を話す際の話題、特に幅広い年代の方と話すことが多かったので1つのコミュニケーションの入り方として良いものだったと思う。
- ・インターンシップ先の社長との1対1の昼食会があり、そこで会社のことやビジネス、大学でのやるべきことなど様々な興味深い話が聞けたことが良かった。また、社長以外でも実際に働いている多くの人と話す機会があり、九工大の先輩がいて、大学では学べない多くのことを学ぶことができた。実習でも教え方がよく学生にとってとても勉強になるカリキュラムが組まれており、また担当の方がとても優しく、わかりやすいように丁寧に教えてくれたのが良かった。
- ・インターン実習を通して良かった点は、社会に出て働くということがどういうことなのか、学校で学んだことがどのように役立てることができるのかなどを学ぶことができたという点です。また、シーケンサーや自己保持回路など研修前は知らなかったことがたくさんあったので勉強不足を感じました。この経験を生かして、これからの学校生活に役立てていきたいと思います。
- ・中小企業は1人あたりの仕事量が多くてとても大変そうだった。働くことは大学の勉強とは違って答えが定まっていないことに対しての勉強だから、とても難しい。
- ・アルバイトで社会勉強をしているつもりでしたが、実際自分が就きたい業種は長期仕事がほとんどだったので、仕事の割売り、休息配分がうまくできないことに気が付いた。実習が1人だったので、大学での学習がどれほど使えるのかは知れたが、自分の他学生(特に他大学)と比べて、強み、弱みを知ることが出来なかったのは残念だった。
- ・学校で習ったことをほとんどやらなかったため、最初は上手くできないことが多かった。それを、どう自分の中で解決していくのか、ということ学ぶことができた。もの作りは、本当に細かなところまでみていることに気付かされた。
- ・静かな社内に対し、どの程度の大きさであいさつをすればいいのか最後まで正解がわからなかった。物づくりにとって規格がいかに重要か理解できた。
- ・良かった点は、廃材の有効活用法とその用途を知れた点。悪かった点は、ノート等の準備が無かった点。
- ・実際の企業の業務内容や雰囲気を知ることができた。・会社内に安全衛生に関する工夫が見られて勉強になった。・インターンシップの内容に安全衛生に関するものが含まれていなかった。
- ・各担当者を紹介されたときに、緊張して挨拶がうまくできなかった。製品の品質管理が細かいところまでなされていて、興味深かった。トレーサビリティという方法で、何重にも製品の管理がなされていた。時間いっぱい、集中して実習に取り組むことができた。
- ・実際にインターンシップを通して企業では安全についてとても気をつけられており、社内のいたるところに安全についてのスローガンや標語が見られたので事故を未然に防ぐことに積極的に取り組まれていることを学びました。非破壊検査も自分が思っていたよりもはるかに多くの物や建造物について取り組まれていることが分かり、自分たちが見えないところで支えられているのだと実感しました。また、地域の小学生にもドローンを見せに行かれたりと地域とのコミュニケーションを大切にされていることを学びました。
- ・社員さん同士の仲がとてもよく感じました。職場環境において対人関係はかなり会社へのモチベーションに影響していると思いますがその中でも上下関係がちがちではなく、上司に対しても少しの悪ふざけも認め合うような素晴らしい会社であると思いました。悪い点は見ている限りではロッカーの換気が少し悪かったこと以外特に見当たらないくらい整備されていました。
- ・今回のインターンシップで、会社で働くとはどういうことか、大学で学んだ力学の知識が仕事にどう応用されているかなどインターンシップを行う以前に疑問に思っていたことを解消することができ、将来の就職活動に対する自分の考えを広げることができたので良い経験となった。また、もともと自分の考えをうまく相手に伝えることが苦手で社員の方と話すとき、社内報告会の時などなるべく考えが相手に伝わるように話すことを心掛け、コミュニケーション力の向上を図る良い機会となった。一度だけ遅刻しそうになったことがあったので、そういったことは直していきたいと思った。

10. 実習での感想、後輩へのメッセージ等（原文のまま）

- ・ 今回のインターンシップでは、講習や工場・現場見学等を通して、鉄塔及び橋梁の設計から制作・仮組・架設・維持修繕まえの一連の流れを学習し、鉄塔・橋梁の基礎を知ることが出来ました。また、今回は「技術部」「製造部生産技術グループ」「製造部鉄塔製造グループ」など、多くの部署の仕事内容ややりがい、工夫苦労などについてお話をうかがうことができたことで、これまで漠然としか考えていなかった職種についても意識できるようになり、今後の就職活動やキャリアのことを考える上で、大変貴重な体験となりました。
- ・ 進路を決めてなかったらインターンシップは必修だと思います。
自分の進路ではなくても会社の流れを知ることができると思います。
- ・ 1日目から作業に入って、設計・製造・検査という流れでインターンシップをしました。初めて見るプログラムや、大学ではやっていない内容の作業等があり、難しさと同時に新鮮な気持ちで作業に取り組むことができました。今回のインターンシップで体験したことを就職活動や就職した後に活かしていきたいと思います。
インターンシップは就活にもいい材料になると思うので、時間があればやった方がいいと思います。
- ・ 実習を行っての感想は、高声電話機ができる工程の設計・製造・検査を行い、一つの製品を製造するだけでもこんなに時間がかかるかを身をもって感じました。またECAD、FPGAなどがある事なども知れて良かったです。後輩にはインターンシップを行うと働くことの大変さ、責任感が知ることができるし、仕事をやりきるとやりがいや充実感を感じることができるを思います。大学生活中に働く事がどんな感じがわからない時はインターンシップで体験すべきだと思います。
- ・ 実施に行くことで実際の企業の雰囲気を知ることができたとし、社員の人にはいろいろとその企業についておしえてもらえた。また、就活に役立つアドバイスももらった。
- ・ 学生の内に(2年、3年生)のときに自分の興味ある企業へ一度は、インターンシップなどで体験してみると良いと思います。なぜなら、実際に見学、体験することで自分が思っていた通りの企業なのか、そうではないのか確認することができるので行くべきだと思います。
- ・ 実際の仕事を見学や体験が出来て良い経験になった。その企業に就職するしないに関係なく、参加した方が良いと思います。
- ・ 今回のインターンシップで仕事をする大変さなど様々なことを学ぶことが出来ました。さらに、普段できないような貴重な体験をすることができ、楽しかったです。この体験をこれからいかしていければいいなと思います。
- ・ 物理の基礎を理解していると座学が分かり易くなると思う。良い人達でした。
- ・ インターンシップは社員の方とコミュニケーションがとれたし、実習内容も私は面白いと感じました。
また職場の雰囲気なども知ることが出来たから、インターンシップに参加すべきだと思う。
- ・ 始めは5日間は長いと思っていたけど、すごく充実した時間をいうこともあってとても短く感じました。企業独自の技術や情報は実際に体験しないと分からないものなので、今回体験できたことはすごく良かったと思います。
- ・ 今回のインターンシップによって学生では普段見ることができない企業の内での雰囲気を味わうことができた。
特に、同じ企業の部署だけではなく他社の部署とも関わって仕事を行っている点は改めてコミュニケーションが大切であると強く実感できた。また、インターンシップに参加することによって自分の働くというイメージを強く実感できるようになった。
機会があればまたインターンシップに参加したいと考えている。
- ・ 今までは働くことに対してのイメージがはっきりとしていない方が多いと思うので、インターンシップを通してイメージがはっきりすると思うので、インターンシップを受けて、損はないと思います。
- ・ 初めて編集をやってみました、とても難しかったです。数時間の映像を数分にまとめるのが大変でした。実際につくってみました、うまくいかないことも多かった。思い通りにできたときは達成感があり、楽しかったです。初めてのことばかりで覚えることも多かったですが、とてもいい経験になりました。インターンシップに参加してよかったです。
- ・ しっかりと事前準備をして、たくさん質問、体験をしてほしいと思います。
- ・ インターンシップって、プラスのことしたなと思うので自分のためにもいったほうがいいと思います。
- ・ 実際に体験してみて、ロボット系の仕事について考えさせられました。ロボットアームのプログラムの作成や動作テストや、配線の手伝いをして、この会社ではこんなことをするのだなと思いました。
- ・ 実習が多く、たくさんの人と話す機会もあり達成感がある。また自分で加工した製品は持って帰れるので思い出になる。事務業務から製造までこの部署にも入れて自分が一番学びたいことを学べる環境だと思う。
- ・ 実習の感想としては、大学とは違ったことを学ぶことができ、とても充実していた。その現場でしか味わえないものっていうのも感じることができるので、都合が合えば、参加した方が良いと思う。インターンシップで学ぶものは多々あると感じた。
- ・ インターンシップは自分の専攻と関係ないと思っている所でも行ってみると良いと就職課の方々も言っていると思いますが、自分はその通りかなと今回の結果では感じています。実務がとても多いところだと苦労すると思いますが、相手の方も助けて下さると思うのと話題さえあれば学年は関係なく経験できることがたくさんあると思いました。
- ・ インターンシップは将来のためにも自分にいるので参加してほしいです。
- ・ 行かなければわからないことが多く、時間以上の価値があると思うので、一度は行った方がいいと思った。

- ・私の場合、映像・編集に興味があっても、その中の興味のない部分に視点をあてた研修になる事があるため、参加する際は企業をよく調べること。
- ・いいも悪いもあると思いまうが必ず行ったほうが良いと思います。
- ・初めてのインターシップを実際に体験して、最初はどのようなものか不安でとても緊張したけど、実施に体験して働いている人の姿や、会社のしくみなど少しでも知れたので良かったです。インターシップはとても良い経験になったので、後輩達はぜひいったほうが良いです。色んな体験ができました。
- ・インターンシップに参加する前は、地元でどのような企業があり、何をしているのか全く知らなかったが今回のインターンシップでその一部を知ることができた。インターンシップ先の企業は多様な事業を行っており、その一部に同行させて頂けたが、どれも想像を上回る経験になった。そのため、他の地元企業にも少し興味が湧いた。大手企業では味わえないような経験も出来るので地元のインターンシップはとても意味があると思った。
- ・事業内容も実習内容も素晴らしい企業です。
ロボットに関する活動を行っている場合は学べる事がとても多いと思います。
- ・インターン参加して、これまでの経験を思っていた以上に生かすことができ、驚いた。実習の課題はロボットの構想を立てるというものであった。自分で考えたアイデアを持ち寄って、話し合ったり実験したりして最適解を求めた。これは、普段参加しているロボコンと同様のアプローチである。しかし、現場が離れていると実験が思うようにできないという企業ならではの制約にも遭遇し、苦労した。企業では時間を少しも無駄にできないため、いかに時間配分をし、効率的に作業を進めるかということの重要性に気付かされた。就職後も役に立つ経験をできたと思う。
- ・撮影現場研修などは、他の企業のインターンシップではなかなかできない貴重な体験で、ここに決めてよかったと思いました。
- ・私は、北九州市内での就職希望だったので、KPECよりインターンシップ先の企業を決めさせていただきました。インターンシップに参加して思ったことは、企業のHPを見るのと実際に企業に入るとは全く違うということです。事前準備として企業のHPより情報収集を行っていましたが、企業に入ると、HPを見え自分が思っていたこととは違うことがたくさんあり、インターンシップで企業に入るといのはとても大切なことで良い経験ができるものだと強く実感いたしました。また、企業に入ることによって企業の雰囲気だったり社会人としての在り方というものを体感することができたので、自分の就職に対してのイメージがより鮮明になったと思います。
- ・有機合成、特に油関係の仕事について知るには最適な会社だと思われる。実際の研究開発部がどのように新しいものを生みだそうとしているか、化学系の人はどこで必要とされるのかがわかった。
- ・私が今回感じたことは、自分の興味を積極的に発信していくことが大切だということです。事前に私の考えが十分に伝わっていなかったことから予想外の部署へ実習に行くことになりました。しかし、実習中に自分の意見を言うと、それに沿うように内容を組んでいただけました。実習前から自分の意見を伝えていくことが重要です。
- ・この実習では、中小企業に対するイメージのようなものが変わった。初めはとても小さい会社だと思っていたが、それ以上にとても活気があって、元気な会社だと思った。また、様々な実習ができたので、ものづくりに対する姿勢のようなものを感じることができた。
- ・自分の専門外の部門での実習をさせていただくことができ、業種に関する視野を広げることができたため良い経験になった。
- ・短い期間でもかまわないのでインターンシップや工場見学には参加しておいた方がよいと思います。
- ・誰しも必ずインターンシップに参加すべきか分からないが、少なくとも自分と同じ状況の人(志望している業種が明確にある人)は、その業種の企業のインターンシップに参加することは良いことだと思います。
- ・現場ではメモを取ることが大事なので、日ごろからメモを取る習慣をつけたいと思った。
- ・とても良い体験になると思います。
- ・ロボットアームの操作や空気圧回路の調整を行った、とても充実した5日間だった。
- ・この5日間で、働くことがどういうことか、大学での勉強だけではなく幅広い見解をもつことがどれほど重要か、肌で感じることができた。自分は院に進学するが、この経験は私を大きく成長させたにちがいない。院に進む学生もインターンシップに参加すべきであると胸を張って言える。
- ・実習前の準備で調べていたつもりではあったが、実際に働いている人を見ると、想像以上に楽しそうに働いていることが知れた。
- ・実習中は企業の方も自分の仕事を中断して指導して下さっているので、早く理解できるように努力することは大事だと思う。けれど分からないことは自分で判断せず「報・連・相」を意識すべきだと思う。実習では、実際に使われる機器に触れ操作させてもらい、より興味を持てた。
- ・インターンシップでは、その企業の仕事内容だけでなく、社風なども知ることができるので良いと思う。また、ビジネスマナーを知るきっかけとしても良い機会だと思うので、積極的に参加してもらいたい。

- ・ 職場の雰囲気が部署によって全く違っていたので、様々な部署で体験してみると面白いと思います。調査部は女性の方が多くてまじめで、計測部はやんちゃでアットホームな雰囲気でした。
- ・ 大手企業でいきなり実践する自信がなかったので北九州人材育成フォーラムのインターシップに参加しました。企業の方はとてもやさしく教えて下さり、とても充実したインターシップになりました。実際に会社に行って仕事をするというのは気づけることもたくさんあり、社会に出ている先輩方のアドバイスをたくさん聞くことができます。興味のあるものの仕事はどういったものなのか、しっかり知ることが出来る場なので、是非インターシップに参加することをお勧めします。
- ・ 2年生で参加して、今何のために大学に行っているのか、どういう役に立つのかが分かって、やる気になりました。今回できたことでできなかったことが分かったので、次に生かせるチャンスをもつことができたので、2年生で行ってよかったです。
- ・ インターンシップを通して実際に見聞きすることには必ず経験になるので頑張ってみて欲しいなと思います。
- ・ インターンシップに行く前にちゃんと「何を学びたいか」「何の目的で行くのか」と自分に問うと、実習中自分のアンテナがたくさん立ち、多くのことを吸収でき、行く意味があると思う。
- ・ 実際にインターンについて実習してみなければ分からないことがあるということを今回の実習で強く感じた。製品に対する責任のようなものは私が感じていたよりもずっと大きいものだった。これは、実際の現場でなければ感じられないものだと思うので、ぜひ実習に行き自分の肌で感じとってほしい。きっとそれ以後の選択の一助になると私は思う。
- ・ 学校では学べない社会のことや今後大学生活で何を意識すれば良いのか等、とても多くのことを学べる機会なので、就職活動でとても強みになる経験だと思った。
後輩へのメッセージとして、ただ行くだけでなく、行ってからそこで自分がどう動くかが大事になってくる。
社長の言葉で、迷惑が嫌ならインターンを受け入れていない、学生の成長のためにしていることなのでどんどん積極的に行動しろ、とのことなので積極性は今後大事になってきますよ。
- ・ インターンシップに参加することで、深く考えることができたので、将来について不安がある場合には積極的に参加するべきだと思います。
- ・ 大学ではなく企業で働くことでしか得られないものがありました。このインターシップを通してこれから私自身どうしていくべきかの方向性が決まったように思います。将来に対して不安がある方はぜひインターシップに参加してみてください。
- ・ 企業や働くことに関しての知識を得ただけならば、1週間のインターシップで十分だと思います。
- ・ 学内の仲良い学生とインターシップに参加しようとかとも思ったが、本当に興味を持った人と出会えたらいいなと思ってだれにも声をかけずに応募しました。自分の選択に後悔はないですが、実際初日に今回は1人での実習だと告げられたときのショックは結構大きかったです。後から思えば自分の興味のない業種に参加する意義もあると思うので、一人にならない対策もするものだったなと思った。
- ・ 出来なかったことが出来るようになることは楽しいです。これが仕事のやりがいにもつながるのではないかと思います。興味があるないにかかわらず、何か一つのことを頑張って達成感を味わうのも良いと思いました。
- ・ 事前知識は少しでも入れておくとう理解の良さが違ってくると思います。担当者の方が親切なため物づくりに関することを色々教えてもらえます。
- ・ 環境への配慮、資源の有効活用を業務として学び、これからの社会に生かせると思う。おすすめです。
- ・ 一度は参加しておくべきだと感じた。企業によってはインターシップの内容に安全衛生に関するものを含まない企業もあるため、事前に安全衛生に関する内容の有無を確認してから企業を選ぶべきだと感じた。
- ・ 教えてもらった内容をまとめたり、実習したりなど自習という形の時間が多く、自分で考えて行動をとらなければならないことが多くあった。わからないことがあるとき、指導者は通常業務をしながらであり、邪魔にならないタイミングで指導を受けるために、周囲の状況を確認しながら取り組むのが大切だと感じた。初めて知ることが多く、勉強になった。実際に現場で行われていることを現場の人に直接話を聞くことができ、よい経験となった。
- ・ 実際にインターンシップに行くことにより授業や周りの先輩や友達、教授の方から教えてもらえることがどのような形で生かされているのかを知ることが可能であり、また、企業とはどのようなものなのかを直に体験できる貴重な機会でもあるので時間を作っても行く価値はあると思います。聞くよりも体験したほうが得られることが多いために早いうちに体験されたほうが良いと思います。
- ・ とても楽しかったです。仕事と一概にいうと毎日必死に行っていると思いましたが実際はそこまできつきつに行っていないのだなと感じました。ただ、忙しい時期はかなり忙しいと言っていたので実際はもっと仕事は忙しいものなのだなとも思いました。
後輩に向けて、職場体験は絶対に興味があることや気になっているところを選ぶべきです。興味ないことをいくらやっても関心を持てずつまらないと感じて職場体験に来た意味が全くなくなるからです。今学んでることでもなくてもいいので興味があることを自分の職場体験先として考え、違う職場でも体験することはきっといい経験になってくれると思います。
- ・ 実際の実務を通して、働くことに対する考え方が変わったのが最も大きな収穫だったと思います。実施に働いてみないと分からないことは体験して初めて得ることが多かったため、今回のインターンシップは良い経験となりました。就職する前には行っておいたほうが自分の考えを広げるという意味でも、就職前に実務をしておくという意味でもいい経験になりますし、何より就職活動の時にこの経験を生かせる場面が必ずあると思うので、行っておくべきだと思います。